

即戦力人材獲得に向けた採用実施も、予定数に達せず

～熊本県内企業 中途採用に関する動向調査～

研究員 林田 祐子

「第134回熊本県内企業業況判断調査」の特別テーマとして、2024年度の中途採用に関する動向調査を行った。

【調査概要】

1. 対象企業	県内主要企業 574社
2. 調査時点	2025年2月1日～2月21日
3. 回答状況	回答企業 219社

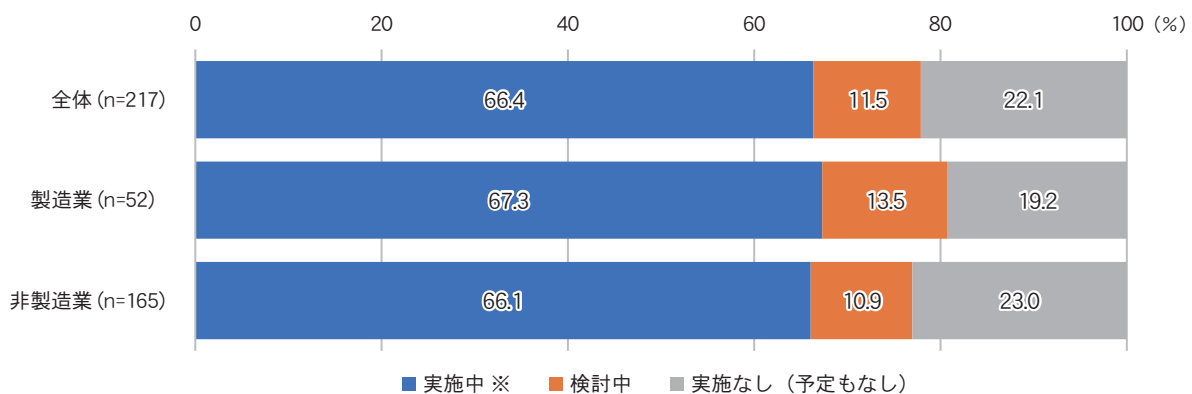
1 中途採用の実施状況

2024年度の中途採用の実施状況は、全体で「実施中」が66.4%に上る（図表1）。業種別では、製造業、非製造業ともに「実施中」が6割を超え、大きな差は生じていない。

自由回答では、人手不足が深刻化する中、新卒採用での人材確保が難しく、中途採用を強化するとの声が聞かれた。なお、自社の社員等から友人や知人を紹介してもらう「リファラル採用」を実施し、実際に採用につながったとの声も聞かれた。

一方で、「実施無し（予定もなし）」の企業から、当面はシステム利用により効率化を進める方針であり、中途採用の予定はないとの声が聞かれた。

図表1 中途採用の実施状況（2024年度）



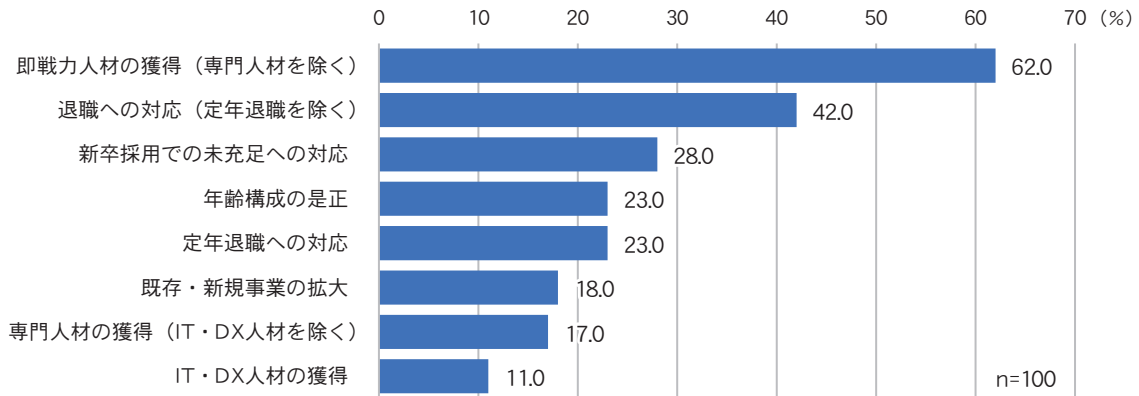
※募集したが採用できていない場合も含む

2 中途採用を実施する理由

中途採用を実施する理由では、「即戦力人材の獲得（専門人材を除く）」が62.0%と最多となり、次いで、「退職への対応（定年退職を除く）」が42.0%となった（図表2）。

一方で、「専門人材の獲得（IT・DX人材を除く）」で17.0%、「IT・DX人材の獲得」で11.0%と専門人材の獲得は即戦力人材に比べ割合が低く、専門職にこだわらない採用を行う企業が多いようだ。また、自由回答では、建設業の企業から女性の採用を積極的に進めたいとの声が聞かれ多様な人材確保に向けた採用に取り組む企業もあるようだ。

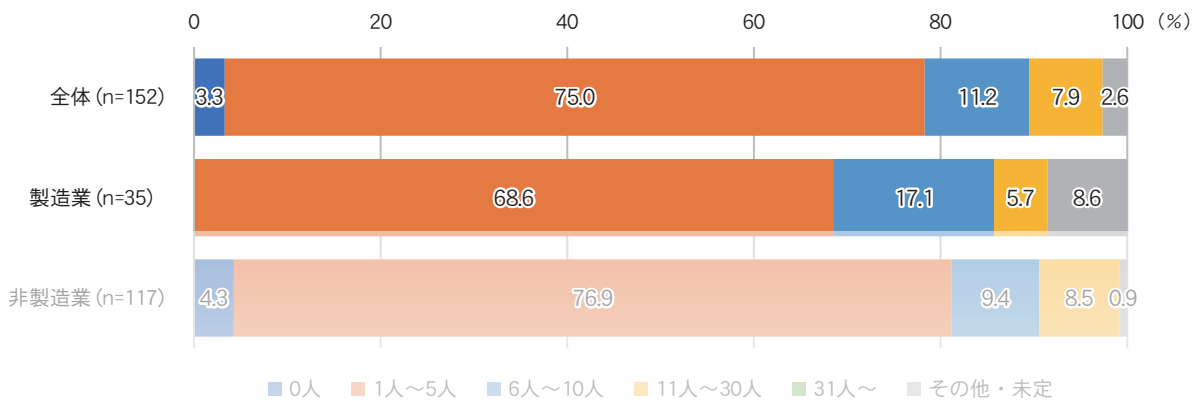
図表2 中途採用を実施する理由（複数回答）



3 中途採用の採用予定人数

2024年度中途採用の採用予定人数は、全体で「1人～5人」が75.0%に上る（図表3）。業種別で見ると、製造業で「6人～10人」が17.1%と非製造業に比べ高い割合となった。

図表3 中途採用の採用計画数（2024年度）



4 以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)